

# それぞれの地域に「暮らしの拠点」づくりを進め、もっと便利に快適に… 教育・福祉・医療・子育て支援・行政サービスなどを充実!

梶山ひろしは、公共施設・インフラ整備を活かして、地域に「暮らしの拠点」づくりを進めます。「道の駅」「郵便局」「JA支所」などを利用し、行政サービス・金融・買い物の場・医療など、地域住民の暮らしやすさを考えた拠点を整備していきます。

梶山ひろしも子を持つ父親です。子育て世代は地域



ひたちなか市産業交流フェア



関東地方整備局へ常陸那珂港関連要望



ふるさと祭りおおみやふれあい広場開会式



茨城県農道整備事業促進協議会による来年度予算要望



自民党道路調査会による財務省主計局長への来年度予算要望



国道461号整備促進協議会による国交省道路局長への来年度予算要望

■梶山ひろしチャンネル ..... <http://www.youtube.com/kajiyamahiroshi>

ホームページ <http://www.kajiyama-office.com/> ブログ <http://ameblo.jp/kajiyama-hiroshi/>

## 衆議院議員 梶山ひろし



自由民主党茨城県  
第四選挙区支部

〒313-0013  
茨城県常陸太田市山下町1189  
TEL.&FAX.0294-72-8100

本部事務所

〒313-0013  
茨城県常陸太田市山下町1189  
TEL.0294-72-2772(代)  
FAX.0294-72-3383

国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2  
衆議院第二議員会館903号室  
TEL.03-3508-7529  
FAX.03-3508-7714

# 梶山ひろし

## レポート View vol.53

平成29年  
新春特集号

愛郷無限  
—新時代—  
Kajiyama Hiroshi

●発行 茨城県常陸太田市山下町1189 自由民主党茨城県第四選挙区支部

# 自民党政務調査会長代理に就任。 与党の政策の中心として 経済、安全・安心、地方創生に全力!



衆議院災害対策特別委員会による  
岩手県台風被害状況調査

2017年がいよいよスタートいたしました。昨年、賜りました梶山ひろしの政治活動への多大なご支援にお礼申し上げるとともに、本年が皆様に取りまして、実り多き年となることを心より、祈念しております。

### ■国土交通省、経済産業省関係の 政策や事業を責任者として審議。

梶山ひろしは昨年、9月6日自民党政務調査会の会長代理に就任いたしました。政務調査会は自民党政策や法案の立案を担当し、審議決定をする党内の最高機関です。ここでは政調会長の元に、政調会長代理を置き、各分野を担当させています。梶山ひろしは、国土交通省、経済産業省関連の責任者として、茂木敏充会長を補佐しています。

**プロフィール**  
●昭和30年10月18日、茨城県常陸太田市生まれ●県立太田第一高→日大法学部卒●サラリーマン生活を経て、昭和63年会社を設立し、中小企業の経営にあたる●平成12年衆議院議員初当選、現在6期●母・春江、妻・由可子、3女の6人家族



自民党の採用する政策、国会に提出する法案などは、すべて政務調査会の審査を得なければなりません。政調会長、会長代理、副会長からなる「政策審議会」で、部会での法案の審議状況、政策全体の重要課題の対応を審議し、党の政策の基本方針を決定、総務会にあげて最終決定されます。その上で「与党政策責任者会議」を開催し、与党間で調整の上、与党の政策として国会審議にかけられる仕組みです。梶山ひろしは、これらの会議の重要なメンバーとして与党の政策立案を担っています。

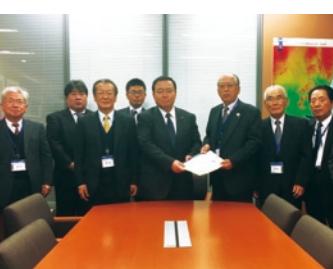
自民党に全国各地から寄せられた国交省、経産省関連の政策要望、来年度の税制や予算、特に社会資本整備事業関連の要望は、梶山ひろしが各省庁と打ち合わせをし、要望の対応をしております。

梶山ひろしは自民党政策を支える屋台骨として、安倍内閣の掲げる「未来への投資実現」に向け、経済再生と景気回復の一層の加速のために、精力的に活動しております。

引き続きのご指導を宜しくお願いいたします。



勝田駐屯地・施設学校開設  
65周年記念行事



茨城県北地区農業農村整備事業予算確保についての要望

# 梶山ひろし 新地方主義宣言。

日本の  
地方再生の  
モデルを創る。



**豊かな自然と歴史を持つ茨城県北エリアは可能性の宝庫です。梶山ひろしはこの地で「みち」と「みなと」を整備し、新たな人・モノの流れを呼び込む。そして、各地域に経済・教育・福祉等を組み合わせた拠点をつくり、暮らしやすさを充実させる。日本の地方再生のモデルを創ります。**

**地元の夢が着々と  
かたちに…。**

■事業中  
■供用済



## ■「みち」を整備し、人とモノの流れを呼び込む

梶山ひろしは、国道293号線、国道349号線、国道245号線をはじめとした基幹道路を整備してきました。これは県北エリアに人やモノを呼び込む大動脈をつくるためです。こうした道路網を今後10年を目指し、急ピッチで完成させていきます。観光資源を使って、経済の効果を県北全体に行き渡らせ、地域の便利さを高める交通網の整備を、梶山ひろしは積極的に進めて行きます。

## ■地域経済・観光の拠点づくりを力強く進める

今後15年で市場規模が4倍の15兆円を見込む観光産業による国づくりが今、注目されています。梶山ひろしは、国内外の交流人口を増やし、経済を再生する政策を早くから進めてきました。地域活力の拠点として全国で38か所しかない重点「道の駅」を常陸太田、常陸大宮で指定を獲得し、「常陸那珂港区」にはクルーズ船の寄港も実現しました。梶山ひろしは、県北の優れた観光資源を整備し、全国2位を誇る農業や、地域の商業とも組み合わせ、県北の産業の活力を取り戻しています。

## ■「みなと」を総合整備し、県北発展の牽引役に、その経済効果を周辺地域に行き渡らせる

首都圏から県北に経済を呼び込むには牽引役が必要というのが梶山ひろしの考え方です。それが「常陸那珂港区」の整備です。新たな産業をおこし、企業を誘致、働く場をつくります。貿易港としても北米への自動車の輸出が始まり、本年4月からは毎月1万台規模となります。「常陸那珂港区」を中心として、この動きをさらに加速させ、経済効果を県北全体に行きわたらせるのが梶山ひろしの次の目的です。

